

聖風会マガジン

オーバー スマイル

vol.
17
2025

特 集

レジェンド職員に聞く聖風会
～歴史をつむぎ、想いをつなぐ～



創立70周年を迎えて、 未来への決意



2025年1月7日、聖風会は創立70周年という大きな節目を迎えました。創設者の「最高に価値あるものをすべての人に」という理念のもと、地域の皆様、ご利用者、ご家族、そして全職員のご支援により、今日まで歩みを進めてまいりました。これまでの歴史の中で、社会や福祉制度の変化に柔軟に対応しながら、地域に根ざした福祉サービスを提供し続けてきたことは、私たちの誇りです。

現在、少子高齢化、人材不足や収支の不安定化など、社会福祉法人を取り巻く環境は厳しさを増しています。各施設の大規模改修やDX化を積極的に推進し、業務の効率化・軽減を図ることで、職員がより働きやすく、ご利用者にとっても安心できる環境づくりに取り組んでいます。先行しグリーンハイム荒川、ゆうあいの郷 扇、ゆうあいの郷 六月での大規模改修やICTインフラ整備を進めています。

2024（令和6）年度決算では、厳しい経営環境の中でも収支改善に努め、当期活動増減差額は前年度より増加しました。今後も物価高騰や社会構造の変化に柔軟に対応し、職員一丸となって経営の安定化に取り組めます。

100周年に向けて、地域に信頼され、次世代に誇れる聖風会を築くため、変革と挑戦を続けてまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人聖風会
理事長 近藤常博

レジェンド職員に聞く 聖風会

— 歴史をつむぎ、 想いをつなぐ —

創立70周年を迎えた聖風会。今回は、その歩みの礎を築いてきた「レジェンド職員」の3名にお集まりいただき、時代の変化とともに歩んできた現場の記憶、支え続けた想い、そして次世代へのメッセージを語っていただきました。

徳森敬子

とくもり けいこ

聖風会歴 37 年

柴田美代

しばた みよ

聖風会歴 48 年

田村麻美

たむら あさみ

聖風会歴 29 年



大きな変革期の中、聖風会の職員として

——今年創立 70 周年を迎えた聖風会では、広報誌の特別企画として聖風会を支えてきたレジェンド職員にご登場いただき 70 周年の歩みについてお話を聞きたいと思います。今の聖風会があるのは皆さんが立ち止まることなく、大変な中頑張ってこられた証だと思います。長年の経験や思い出、これからの聖風会を担う職員の皆さんに向けたメッセージなどをお聞きし、伝承・発展に努めていきたいと考えていますのでよろしくをお願いします。

柴田 長く勤めてきた中でいろいろ
なことを経験させてもらいましたが、
その中でもパソコン導入によるデジ
タル化は大きな変革期でした。デジ
タル化がなければ、介護はうまくいっ



「入浴予約」システム トップページ

てなかったと思います。書類はすべて手書き、連絡もすべて口頭でした。「言った言わない」とうまく伝わらないことも多々あり、ショートステイの送迎、入浴や会議室の予約もすべてアナログで管理していたので、何かも手間がかかり、トラブルやミスも多発していました。

パソコン導入は他の法人に比べても早かったと思います。今の業務効率化の土台はここにあると思います。今の時代スマホになってとても便利になりましたよね、それくらい画期的なことでした。朝礼で伝達事項があっても当直明けでいない人もいます。そこで伝えても連絡は届きませんよね。それがパソコンのシステムを使うことで皆に伝えることができ、情報交換もできます。当時の介護業界は女性ばかりでどうしても些細なことで口論になることもありましたが、いろいろなトラブルが解消されました。

田村 聖風会は紙おむつの導入も早かったですね。当時は浴衣を崩し

たものを布おむつとして使っていた時代だったので、すごい先進的だなと思ったことを覚えています。

職員旅行やご利用者と一緒にマイクロバスで旅行したこともありました。車酔いする方や夜なかなか寝つけない方がいたりしてね。今のよう
に大所帯になると難しいですが、そのような行事もありました。

徳森 昔は、清掃業者に委託して
いなかったのですが、ご利用者のご家族
にお願いして、半年に1回、床のポリ
ッシャーかけなど大掃除を手伝っ
てもらっていました。昔の介護の現
場には男性が少なかったのでご利用
者のご家族にはいろいろ助けてもら
いました。

田村 古き良き時代ではないですが、ご家族を巻き込んで皆で施設を盛り立てていくっていうかね。時代とともに、介護制度や仕組みも変わっていく中で、ご利用者の状況も変わってきたと思います。

年		6		月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	2076	2077	2078	2079	2080	2081	2082	2083	2084	2085	2086	2087	2088	2089	2090	2091	2092	2093	2094	2095	2096	2097	2098	2099	2100	2101	2102	2103	2104	2105	2106	2107	2108	2109	2110	2111	2112	2113	2114	2115	2116	2117	2118	2119	2120	2121	2122	2123	2124	2125	2126	2127	2128	2129	2130	2131	2132	2133	2134	2135	2136	2137	2138	2139	2140	2141	2142	2143	2144	2145	2146	2147	2148	2149	2150	2151	2152	2153	2154	2155	2156	2157	2158	2159	2160	2161	2162	2163	2164	2165	2166	2167	2168	2169	2170	2171	2172	2173	2174	2175	2176	2177	2178	2179	2180	2181	2182	2183	2184	2185	2186	2187	2188	2189	2190	2191	2192	2193	2194	2195	2196	2197	2198	2199	2200	2201	2202	2203	2204	2205	2206	2207	2208	2209	2210	2211	2212	2213	2214	2215	2216	2217	2218	2219	2220	2221	2222	2223	2224	2225	2226	2227	2228	2229	2230	2231	2232	2233	2234	2235	2236	2237	2238	2239	2240	2241	2242	2243	2244	2245	2246	2247	2248	2249	2250	2251	2252	2253	2254	2255	2256	2257	2258	2259	2260	2261	2262	2263	2264	2265	2266	2267	2268	2269	2270	2271	2272	2273	2274	2275	2276	2277	2278	2279	2280	2281	2282	2283	2284	2285	2286	2287	2288	2289	2290	2291	2292	2293	2294	2295	2296	2297	2298	2299	2300	2301	2302	2303	2304	2305	2306	2307	2308	2309	2310	2311	2312	2313	2314	2315	2316	2317	2318	2319	2320	2321	2322	2323	2324	2325	2326	2327	2328	2329	2330	2331	2332	2333	2334	2335	2336	2337	2338	2339	2340	2341	2342	2343	2344	2345	2346	2347	2348	2349	2350	2351	2352	2353	2354	2355	2356	2357	2358	2359	2360	2361	2362	2363	2364	2365	2366	2367	2368	2369	2370	2371	2372	2373	2374	2375	2376	2377	2378	2379	2380	2381	2382	2383	2384	2385	2386	2387	2388	2389	2390	2391	2392	2393	2394	2395	2396	2397	2398	2399	2400	2401	2402	2403	2404	2405	2406	2407	2408	2409	2410	2411	2412	2413	2414	2415	2416	2417	2418	2419	2420	2421	2422	2423	2424	2425	2426	2427	2428	2429	2430	2431	2432	2433	2434	2435	2436	2437	2438	2439	2440	2441	2442	2443	2444	2445	2446	2447	2448	2449	2450	2451	2452	2453	2454	2455	2456	2457	2458	2459	2460	2461	2462	2463	2464	2465	2466	2467	2468	2469	2470	2471	2472	2473	2474	2475	2476	2477	2478	2479	2480	2481	2482	2483	2484	2485	2486	2487	2488	2489	2490	2491	2492	2493	2494	2495	2496	2497	2498	2499	2500	2501	2502	2503	2504	2505	2506	2507	2508	2509	2510	2511	2512	2513	2514	2515	2516	2517	2518	2519	2520	2521	2522	2523	2524	2525	2526	2527	2528	2529	2530	2531	2532	2533	2534	2535	2536	2537	2538	2539	2540	2541	2542	2543	2544	2545	2546	2547	2548	2549	2550	2551	2552	2553	2554	2555	2556	2557	2558	2559	2560	2561	2562	2563	2564	2565	2566	2567	2568	2569	2570	2571	2572	2573	2574	2575	2576	2577	2578	2579	2580	2581	2582	2583	2584	2585	2586	2587	2588	2589	2590	2591	2592	2593	2594	2595	2596	2597	2598	2599	2600	2601	2602	2603	2604	2605	2606	2607	2608	2609	2610	2611	2612	2613	2614	2615	2616	2617	2618	2619	2620	2621	2622	2623	2624	2625	2626	2627	2628	2629	2630	2631	2632	2633	2634	2635	2636	2637	2638	2639	2640	2641	2642	2643	2644	2645	2646	2647	2648	2649	2650	2651	2652	2653	2654	2655	2656	2657	2658	2659	2660	2661	2662	2663	2664	2665	2666	2667	2668	2669	2670	2671	2672	2673	2674	2675	2676	2677	2678	2679	2680	2681	2682	2683	2684	2685	2686	2687	2688	2689	2690	2691	2692	2693	2694	2695	2696	2697	2698	2699	2700	2701	2702	2703	2704	2705	2706	2707	2708	2709	2710	2711	2712	2713	2714	2715	2716	2717	2718	2719	2720	2721	2722	2723	2724	2725	2726	2727	2728	2729	2730	2731	2732	2733	2734	2735	2736	2737	2738	2739	2740	2741	2742	2743	2744	2745	2746	2747	2748	2749	2750	2751	2752	2753	2754	2755	2756	2757	2758	2759	2760	2761	2762	2763	2764	2765	2766	2767	2768	2769	2770	2771	2772	2773	2774	2775	2776	2777	2778	2779	2780	2781	2782	2783	2784	2785	2786	2787	2788	2789	2790	2791	2792	2793	2794	2795	2796	2797	2798	2799	2800	2801	2802	2803	2804	2805	2806	2807	2808	2809	2810	2811	2812	2813	2814	2815	2816	2817	2818	2819	2820	2821	2822	2823	2824	2825	2826	2827	2828	2829	2830	2831	2832	2833	2834	2835	2836	2837	2838	2839	2840	2841	2842	2843	2844	2845	2846	2847	2848	2849	2850	2851	2852	2853	2854	2855	2856	2857	2858	2859	2860	2861	2862	2863	2864	2865	2866	2867	2868	2869	2870	2871	2872	2873	2874	2875	2876	2877	2878	2879	2880	2881	2882	2883	2884	2885	2886	2887	2888	2889	2890	2891	2892	2893	2894	2895	2896	2897	2898	2899	2900	2901	2902	2903	2904	2905	2906	2907	2908	2909	2910	2911	2912	2913	2914	2915	2916	2917	2918	2919	2920	2921	2922	2923	2924	2925	2926	2927	2928	2929	2930	2931	2932	2933	2934	2935	2936	2937	2938	2939	2940	2941	2942	2943	2944	2945	2946	2947	2948	2949	2950	2951	2952	2953	2954	2955	2956	2957	2958	2959	2960	2961	2962	2963	2964	2965	2966	2967	2968	2969	2970	2971	2972	2973	2974	2975	2976	2977	2978	2979	2980	2981	2982	2983	2984	2985	2986	2987	2988	2989	2990	2991	2992	2993	2994	2995	2996	2997	2998	2999	3000

入浴予約表



ユニットケア研修の様子

皆で支え合って、仕事にそしてケアに向き合う

柴田 忘れられないエピソードという、私はユニットケアを立ち上げた時が印象に残っていますね。定員が150名から220名になり建物も広くなる中で、毎日の業務が流れ作業になってしまい、職員一人ひとりが疲弊していました。新しく職員が来ても教育する余裕がなく、このままでは職員をまとめきれないと、ユニットケアの導入に力を注ぎました。最初は反対意見もあり時間もかかりましたが、せっかく新しい職員が入っ

てきているのに辞めさせたくないって
いう思いが強かったですね。

田村 ユニットケアの導入には私もたくさん勉強させてもらいました。もともと一斉介護に矛盾を感じていて、排せつ介助を行うだけで朝から午後までかかり、入浴も手際を求めるあまり十分な対応ができず、当時のご利用者に対して申し訳ない気持ちを持っていました。ユニットケアが導入されることで状態が緩和され、一人



柴田美代 職員

ひとりに手厚い介護ができるようになると期待していました。



レジェンド職員の話しに
聞き入る広報委員

これまで聖風会の職員として頑張ってきた理由

田村 どうしてそんなに頑張れたかという、きっと使命感みたいなものがあつたのだと思います。私は専門の学校に行っていませんでしたが、早く働いていた分、少し技術を持っていた。その中で一生懸命勉強して介護福祉士の資格を取ったので、やっぱり貫き通したいという決意がありました。お医者さんだって、医者になったから素敵な治療ができるわけではなく、常に勉強し続けるから

立派な医者になれるのだと思います。介護福祉士もきっと同じで、勉強も含めて介護の仕事が好きだったからだと思います。

徳森 私は生活のためかな（笑）。介護の仕事しかしたことがないから、他の仕事はできないと思っていました。他のところでイチから苦労するなら、今のご利用者、今の職員の中で頑張っていきたいと思いました。どうせ生活のために仕事をするのなら、働きたいところで働きたいなと。

柴田 私も資格は働いてから取ったので苦労した部分もありましたが、介護の仕事をするようになって自分の素を出して働くことができました。それはすごく大きな部分で世界が広がるようでした。ありのままの自分で

接することでご利用者も受け入れてくれて、取り繕わなくても楽しい会話ができるのが嬉しかったです。

徳森 ご利用者にはいろいろなことを教えてもらいましたね。お料理のことから、着物の畳み方、帯の締め方まで。「盆踊りで司会をやるんですよ」と言ったら、担当のご利用者が「浴衣着せてあげるからいらっしゃい」と着せてくれたこともありました。そのおかげで、今でも着付けすることができますよ。

田村 家族や周囲の人たちが仕事をするのを理解してくれて、支えてくれたことも長く働くことができた秘訣だと思います。子どもたちも母親の働く姿を誇らしく思ってくれていました。



田村麻美 職員

これからの聖風会を担う職員の方へのメッセージ

田村 私が入職した時とは時代背景や個々の価値観も大きく様変わりしていると思います。SNS で人と繋がることも当たり前かもしれませんが、リアルの人と人の繋がりを大切にしてほしいです。ご利用者、上司や先輩、仲間、後輩と、いろんな縁が結びついていくのが介護の仕事の面白さです。人生経験が豊富で様々な人生を送られてきたご利用者の時代背景や価値観を知り、その人の最期を共にできること、ほんの一部ですがその人生

に自分が関わっているということはどういうことかだと思います。理想と現実のギャップに悩むこともあるかと思いますが、そんな時はなぜ介護の仕事を選んだのかと自分自身を振り返ってみてください。甘えはダメだけど、自分自身を大切に、仲間を大切に聖風会を盛り上げてほしいです。

徳森 今は転職サイトで気軽に仕事を变えることができるようになりました。ですが、長く勤めることによって

得られたものがたくさんあると思っています。ご利用者から学べたこともたくさんあるし、人が亡くなる瞬間に立ち会うたびに、ご利用者がどんな人生を歩み、どのような最期を求めているのかを考え、心から支援したいと思うようになりました。それは自分自身に置き換えることで、自分がどう生きたいか、どう死にたいかということを点から線で見えるようになり、面で捉えることができます。せっかく人の人生に関わることができる仕事を選んだ



徳森敬子 職員

のだから、自分の人生に対する学びを得ることで仕事の価値が増すのではないのでしょうか。ご利用者が好きでご利用者の笑顔を見るだけで仕事を頑張れる職員だったら大丈夫なので、自分の個性を生かしてどんどん乗り越えてほしいと思います。

柴田 長く勤めているとトラブルが起こることもあります。やりたいことがあってもそれを支援してくれる人がい

ないと行き詰まって嫌になってしまいます。ですが、現場には必ず同じ考えの人、賛同してくれる人がいます。その人たちを見つけて自分が良いと思ったことを実行するエネルギーを持ってほしいです。そして、それぞれのストレス解消法を作っておいてください。

なんでも良いので仕事以外で何か発散できるものがあればいいですね。私はどうしても辞めたいと思ったら、少し休んでも、転職しても構わないと思っています。違うところを見ないと見えないこともありますからね。そして、また戻ってきてその経験を活かしてもらえればと思います。あまり目標を高くし過ぎず、課題を自分にかけ過ぎないで、近くに目線を落として今できることを少しずつで構わないのです。

——原点を知ること、これからの聖風会を担う職員の皆さんにとっても大きな財産となります。レジェンド職員の皆さんが築き上げてきた歴史と想いを次の世代に伝え、70年の先も続く聖風会でありたいと思います。貴重な意見をいただきありがとうございます。



レジェンド職員たちと取材後にパシャリ！

A.

- ① 相手の立場で見る・聴く・考える
- ② 相手の笑顔・自分の笑顔
- ③ その人がその人らしく生きること

上記の3つは法人の運営理念です。朝礼で唱和するうちに覚え、いつの間にか働いている時に何度となく頭に浮かぶようになりました。法人職員として、理念を大切に今後働いていきたいと思っています。

この言葉のおかげで、ご利用者がどんなに思いがけない言動をなさっても、「あ！コレが“その人らしく”なんだ〜」と、笑顔で受け止めることができるようになりました。

永年勤続職員 アンケートの言葉

Q.

聖風会の職員として
働く上で
大切にしてきたこと
を教えてください

聖風会の創立70周年を記念して、各部門の永年勤続職員の皆さん30名にアンケートを回答いただきました！誌面の関係上、すべての回答を掲載できなくて大変心苦しいですが、今回はその一部をご紹介します！

① 大切な人間関係

様々な考えを持つ人たちと関わる中で、多くのことを学び、長年の勤務を通してとても貴重な人生経験をさせていただきました。

② 親切な気持ち

ご利用者・職員に対しては素直な気持ちで接し気持ち良く毎日が過ごせるように心がけ日々努力するようにしています。

③ 目くばり・気くばり・心くばり

すべての人にこの気持ちをもって接していますが、実行にあたってはなかなか思うようにいかないこともあります。周囲を気にしながら常に意識を持ち続け対応していきたいと思っています。

A.

1つ目は、「ありがとう」の言葉です。

私は学校を卒業して就いた仕事が営業でした。そこでは、たくさんのお金を稼ぎましたが、お客様から喜ばれる経験をするがありませんでした。老人ホームでは、人生の大先輩がたくさんの苦労を経て施設にいられています。少しでも喜んでいただけるよう、最高のケアを目指し日々奮闘していると、ご利用者から『ありがとう』の言葉とともに満面の笑顔のプレゼントをいただくことがあります。私はその言葉をモチベーションとして日々働いています。

2つ目は、身口意「しんくい」の三業「さんごう」です。

これは仏教の教えですが、身（行動）・口（言葉）・意（思っていること）の3つです。

普段のケアにおいて、良いことも悪いこともすべて自身に返ってくると言い聞かせ、気持ちを奮い立たせています。

3つ目は、感謝と敬意です。

私は小説家の吉川英治さんの【我以外皆我師也（われいがいみなわがしなり）】の言葉が好きです。

職員、ご利用者、ご家族、そして海外から来たグローバル職員の方々は、それぞれ異なる環境・言葉・文化の違いを乗り越えて日々を過ごしています。関わるすべての人に、感謝と尊敬の気持ちを忘れずにいたいと思います。

A.

Q. 聖風会の職員として働く上で大切にしてきたことを教えてください

A.

個人個人の生活していく上での基本的な生活パターンやその方の嗜好等を考慮して援助を行うようにしていること。

人によってその嗜好は様々です。暑がりや寒がりなど、入浴時の湯の温度の好みもその方によって違っており、熱いお湯が好きな方には湯温が高いうちに入っていたくようにしたり、夏場でも寒がりの方には下着も工夫したりしています。できる限りその方の好みを把握して援助することで、少しでも気持ちよく過ごしていただけるのではないかと考えています。また食べ物の好みも変化することがあるので、食事の際によく残されているものはないか、食べにくそうにしている物はないかをよく見ています。そのような情報をチームの皆と共有することによってより統一された援助を行うことができるので、**情報の共有**という点にも気を付けてきました。

また、ご自分で要望を伝えるのが難しい方には、**自分だったらどう思うか、何をしてもらえば不快な思いをせずに過ごせるのかという点についても大切**にしてきました。

1. 会長が仰ってきた聖風会の成り立ち

開設記念日に会長が話される苦労話にとっても感銘を受けました。聖風会の名に恥じないようにしたいと強く思いました。時には区役所に直接ご相談に行かれた会長ですが、時節の折々に施設を回られて、直接職員に労いの言葉を掛けられる会長がとってもかっこいいと思っていました。

2. 時代の流れに取り残されないようにした

措置制度の中で仕事に従事していましたが、介護保険制度が始まり、競争・利益・サービスという概念が誕生しました。聖風会のこの施設をつぶすわけにはいかないと息巻いて介護保険制度が改定されるたび一生懸命勉強しました。

A.

自分が大切にしてきたものの1つ目は「時間」です。

自分にも相手にも時間というものがあってそれは二度と取り戻せないものです。誰かと約束をしてそれを忘れてしまったら相手の時間を無駄にしたということです。とは言っても実際忘れてしまうことがありますが、相手のことをきちんと考えて行動したいといつも思っています。

2つ目は、自分の考えだけを押し付けないようにしていること。

人それぞれ考え方も感じ方も違うので、自分の意見はさておき相手の意見や思いをまず聞くようにしています。自分の凝り固まった視点で話をした時に相手を不快にさせてしまったことがあるからです。

3つ目は、人に興味をもつこと。

職員でもご利用者でも自分と違う環境で生活し、何に興味があって何に対して楽しいと思うのかなど。人それぞれ個々に違う人間なので考え方も行動もまったく違う、1つの枠にはめないようにしていきたいと思っています。

A.

1つ目はご利用者の尊厳です。

人として大切にされていると感じながら生活できるように、安心して安全な環境を整えること、その人らしく生きられるような自立支援を行ってきました。

2つ目は地域に施設の存在を知ってもらうことです。

地域住民に施設を知ってもらえるよう、施設祭、喫茶、ボランティア、見学者、実習生の受け入れなど、他職種と連携して行ってきました。

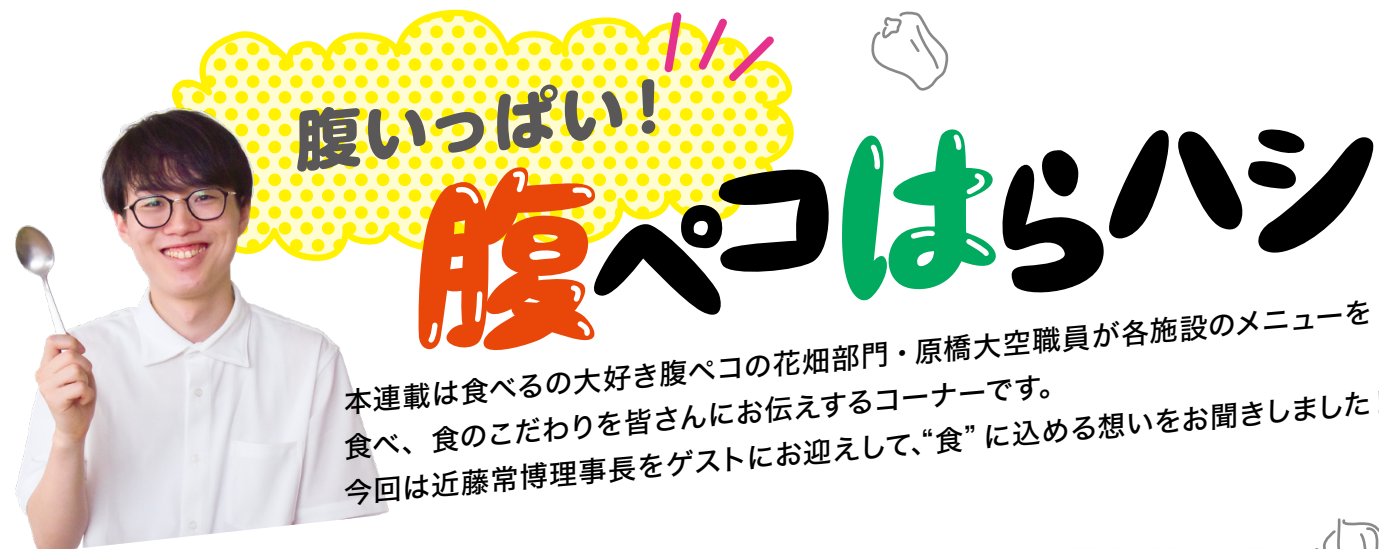
3つ目は職員が楽しく働ける職場環境づくりです。

困った時に誰もが安心して「助けて!」と言える、良好な人間関係で仕事ができるように意識して勤めました。

A.

3. 笑顔かな

聖風会のいち介護従事者としてだけでなく、私生活でも（育児、お姑さんとの同居などなど）すべてにおいて、眉をしかめていても何も解決はすることなく、笑顔でいれば状況が良くなるが多かったように思います。私生活が円満であれば仕事も楽しく、その逆も然りです。



歳時記による食事の重要性

原橋 本日はご当地メニューということで新潟県の冷や汁をご用意いただきました。食欲が落ちる暑い夏にもサラッと食べられる夏を乗り切るためのアイデアですよ。

理事長 夏を乗り切ると言えば冬瓜。ご利用者の食事メニューの中にも夏バテ防止に冬瓜が出ますよね。聖風会にとって大切なことの1つに「食」があります。日本には歳時記という書物があり、四季折々の事物や行事、風習などについて書かれています。この歳時記を日々の生活に取り入れることで、「食」を通して四季を感じ、豊かな暮らしを送ることができるのです。

今回いただく食事： ご当地メニュー《新潟県》



施設では1年中エアコンで温度が設定されているので、ご利用者からすると季節を感じるのが難しいです。季節感がないと、露地もの（温室やビニールハウスではなく、露天

の畑で栽培された野菜）は何かと聞いても分からないし、食事の中で提供されなければなおさら分かりません。ですから、食事は歳時記を通して、季節に合ったものを取り入れていくことが肝心です。今は夏ですから、トマト、ナス、キュウリとかですね（取材当時：9月）。

厨房の調理員さんと栄養士さんの連携で美味しい食事を提供

原橋 近藤理事長は今でも足立新生苑で食事を召し上がっているそうですね。



理事長 食べていますよ。施設で提供する食事を食べることで、ご利用者が食べているものを把握できますからね。美味しい食事は栄養士さんや厨房の調理員さんの連携があってこそ、毎日安定した食事を提供できていると思っています。私も食べることで、もう少し歯ごたえがあったらいいなとか、こんなのを食べてみたいなんて話しながら、栄養士さんや調理員さんとコミュニケーションをとるようにしています。どうしても冷凍食材を使うこともありますが、食感を残したり、味の奥深さを工夫してくれています。

今後の聖風会の食に関して

原橋 最後に今後の聖風会の食についてお願いします。

理事長 時代がどう変わろうとも歳時記を大切にしていきたいです。もう日本の四季も夏と冬の二季になるのでは、なんて言われていますけれども、その季節に合った露地ものを取り入れて味わうことにこだわりたいです。それと並行して「五感」を使った食事を心がけることで生活に刺激を与えていきたいと思っています。

原橋 本日の食事メニューにあるトウモロコシご飯も夏の食材です。季節に合った食材ですね。

理事長 そうです。そして職員も上げ膳据え膳で食事を提供するだけはいけません。ご利用者のそばに寄り添って、「今日はトウモロコシご飯で、夏の野菜ですね。夏祭りでは焼きとうもろこしをよく見かけますが、焼くのと茹でるのではどちらが好きですか？」など、食事を通して会話を広げていってほしいです。

原橋 郷土料理である冷や汁も会話のきっかけになりそうですね。

理事長 どの施設でも郷土料理は提供していると思いますが、施設には北海道から沖縄までいるんな地域出身のご利用者がいらっしゃいます。すると、それぞれの郷土料理は、自分が生まれ育った土地の味であり、懐かしさとともに故郷を思い出すきっかけになります。これも刺激になりますよね。以前、施設の共有スペースに日本地図を貼って、何月はこの郷土料理、何月はどこのご当地メニューと、予定表のように貼り出しているところがありました。ご利用者の皆さんは



予定表を見て、食事が楽しみになりますよね。生活を楽しむ要素になっていきます。それは何もご利用者に限ったことではなく、職員の中でも「〇〇料理ってどんなのがあったっけ？あの〇〇出身じゃない、聞いてみようか」なんて会話のきっかけになりますよね。食事は生命維持だけではなく、心や記憶、文化をも育むものだと思います。ご利用者の皆さんにも職員の皆さんにも食事をもっと楽しんでもらいたいです。



今回の一枚

千住桜花苑にお邪魔して新潟のご当地メニューを堪能！
冷や汁はキュウリやナス、ミョウガやシソが入っていてシャキッとさっぱり！夏のご馳走に大満足です！
今日も腹いっぱい！ごちそうさまでした！



のっぺ（里芋の煮物）をバクリ！



WEBではさらに他の食事も紹介しています！
ぜひこちらも合わせてご覧ください！





あべはみた！？

見一ちゃった、見一ちゃった！ご無沙汰しています、どうもあべです。
今回は荒川区の**特別養護老人ホーム・グリーンハイム荒川**（以下、グリーンハイム）の
お引っ越しに潜入しました。

グリーンハイムは、施設の大規模修繕により、
2027年までは台東区内の施設をお借りして事業運営をしま
す。特養のお引っ越しは聖風会 70年の歴史で初めてとのこと
で、それを聴いたら、わたし、居ても立ってもいられなくて、
取材に来ちゃいました！

当日、慌ただし中でも笑顔で撮影に応じてくれた
広報委員の須田職員



どこに行くのか緊張されているご利用者の気持ちに
寄り添い、優しく言葉を掛ける職員の皆さん

秋晴れの引っ越し日和

引っ越しの当日は爽やかな秋晴れ。朝 8 時前にはグリーンハイム
に到着しましたが、施設の中はどこか緊張感のある空気で、わた
しも緊張度マックスとなったので、ストレッチでからだをほぐしま
した。

これから始まる「聖風会“初”特養のお引っ越し」！ だけど慌た
だしさがご利用者に伝わらないよう、配慮しながら関わられている
職員の皆さんの姿を見て、「プロフェッショナルうー！」と心の中で
思わず拍手をしちゃいました。

住み慣れたグリーンハイムとのしばしの別れ

フロアに積まれた段ボールや引っ越し用の資材、「廃棄」と紙が貼ら
れたイスやテーブル、片付けられて空いたスペース。一つひとつの傷
や跡にグリーンハイムの歴史、ご利用者の生活の痕跡を感じ、センチ
メンタルな気持ちになるわたし。

この場所で多くの人が共に笑いあったり、涙したり、励まし合ったりし
たんだろうと、勝手にいろんなストーリーを想像して、聖風会の職
員を代表して、誰もいなくなったこの場所に感謝していました。



間一髪でセーフでしたが、荷物と一緒に
運ばれそうになる、わたし（笑）



介護タクシーのスタッフの皆さん
移動のプロフェッショナルの力を借りて、
安全にご利用者にご移動いただきました

「オール聖風会」でご利用者の安心、安全に最善を尽くす

当日はご利用者の皆さんが順番に荒川区から台東区に介護タク
シーで移動していきました。車内の同乗する介助者は法人の他部
門より、施設長や課長の皆さんにご協力いただき、万全の体制
で移動できました。

ご利用者がリラックスした雰囲気の中で移動できるよう、気持ちに寄
り添いながら言葉掛けをし、ベストを尽くして、グリーンハイム
の引っ越しに協力されていて「オール聖風会」っていう言葉がピッ
タリなグリーンハイムでの引っ越しでした。



わたしの担当は動画の撮影と取材！

新しい暮らしにも、丁寧に寄り添った支援を

介護タクシーに 25 分ほど乗り、到着した施設。「こ
こはどこかな？」と戸惑いを見せるご利用者もいらっ
しゃいましたが、暮らす場所は変わったとしても聖風
会の法人理念は変わりません。新しい暮らしも、職
員の皆さんが丁寧に、寄り添いながら生活のサポ
ートをさせていただきますので、ご安心ください！



着々と進む、引っ越しの準備



新しい住まいについて、まずはホッとひと息
ここでもたくさんの喜び溢れる暮らしを送りましょう

あべ note

それにしても引っ越しって、人生における 1 つの分岐点みたいなもので、何かに
区切りをつけたり、何かが始まったり、引っ越しの数だけ物語もあるんだろうなっ
て考えちゃいました。あー、なんだかわたしも引っ越ししたくなってきたな…おっ
とここからはプライベートなので、オフレコで。

次は聖風会のあなたの元に、
ごめんください。
以上、現場からあべでした！



「最高に価値あるものをすべての人に一地域に信頼される施設を目指して―」

「経営理念」

私たちが目標とすること

地域に貢献する総合福祉事業の展開
卓越したケアサービスによる顧客満足
効果・効率を考えた弛まぬ業務改善

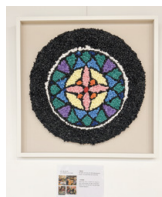
「運営理念」

私たちが大切にしていること

相手の立場で見る・聴く・考える
相手の笑顔・自分の笑顔
その人がその人らしく生きること

■韓国での交流：認知症高齢者美術交流展参加

2025年9月10日～12日にかけて、韓国で開催された国際美術交流展にご招待いただきました。このイベントは、日本・ベトナム・韓国の認知症高齢者による美術作品を持ち寄り、国境や文化を越えて芸術的な連携を深めることを目的としています。聖風会は、特養やデイサービスのご利用者皆で作上げた作品を出品しました。大きな作品は韓国に運べなかったため、プログラム内で紹介される形となりましたが、各国の作品の題材や色彩の違いに触れ、文化的多様性の面白さを改めて実感しました。



■編集後記 & ●私のレジェンドにまつわるエトセトラ

■実は、30人の永年勤続職員さんにもっと多くの質問に答えてもらっています。誌面には載せきれなくてとっても残念なんです。WEB版のクローバースマイルにはアップされる予定なのでぜひ読んでみてください！

●私は忍耐力・継続力ある人があこがれです。今回レジェンド職員のお話を聞いて、ほんとにすごいと思いました。私もこれから聖風会のレジェンド職員を目指します！
(足立部門 久保田 ちひろ)

■今回は法人創立70周年記念号。法人・職員が大事にしてきた“もの”を次の時代を担う職員の皆様に受け取っていただき、更なる未来に向け進んでいく。今回の表紙のボタンにはそんな意味が込められています。

●ザック・ワイルドというギタリストがあこがれの人です。貴公子のような顔立ちで長髪を振りながら野獣のようにギターを弾くPVを見た時に稲妻が走った私でしたが、如何せん指も手も足も短かく真似できなかったのを覚えています。
(広報委員長 六月部門 小口 巧)

■広報委員として初めてのインタビュー体験でした。ずっと介護という世界で、更には聖風会の一員として働いてきたお三方の話は貴重以上の何ものでもありませんでした。1人でも多くの方にこのインタビューが届けられれば幸いです。

●恥ずかしくて名前は伏せますが、彼らはずっと努力を怠らず、自分に厳しく、語学も堪能。多忙な仕事を続けながら学業も真剣に取り組んで、私が尊敬する全てを持っています。はい、ただの押し語りでした。
(扇部門 小川 佳那子)

■聖風会“初”のグリーンハイム荒川・特養のお引っ越し！長年、慣れ親しんだ思い出いっぱい場所から離れるのは感慨深いですよね。ドキドキした様子のご利用者にと寄り添う介護職の皆さん。どんな時も介護のプロフェッショナルな姿に感動です。

●桜花苑で出会ったボランティアさん。いつも楽しそうな笑顔で作業をしてくださり、私もたくさんの元気をもらっています。私も皆さんのように心にゆとりある人生を歩みたいと思います。
(千住部門 阿部 真奈美)

■創立70周年ということで連載2回目にして理事長にご出演いただき、聖風会の食に関してとても良いお話を伺えました。冷や汁は初めていただいたのですが、とても美味かったので夏の暑い時期に作りたいと思います。

●俳優・スーツアクターの高岩成二さんです。幼少期から仮面ライダーが好きでよく見ていましたが、変身後も同一人物かのような細かい仕草やキャラの演じ分けなど、平成ほぼ全ての主役を務められた正にレジェンドです。
(花畑部門 原橋 大空)

■レジェンド職員お三方のお話はどれも興味深く、新鮮なお話ばかりでした。誌面の関係で載せきれないお話もありましたが、これからの聖風会を担う職員の皆さんに向けたメッセージをいただき、聖風会の職員として必読です！

●アンパンマンです。困っている人がいたらすぐに駆けつけ、自分の顔まで分けてあげるなんて、本当に優しいなと思います。仕事でも日常でも、周りの人が少しでも笑顔になれるような関わりをしていきたいです。
(荒川部門 須田 葉月)

社会福祉法人 聖風会法人広報誌『クローバースマイル』vol.17

2026年2月1日 発行／発行人 近藤常博

法人本部 〒121-0061 東京都足立区花畑四丁目39番10号 / 電話03-3883-7955 (代表)

企画編集 社会福祉 法人聖風会 広報委員会

編集協力 株式会社エイデル研究所 / デザイン 有限会社ソースボックス

※写真は許可を得て掲載しています。



聖風会の“いま”を
伝えるWEBメディア